

NETGEAR® インストールガイド

NETGEAR® ReadyNAS™ 3200

本ガイドの手順に従って、NETGEAR® ReadyNAS™ 3200 をインストールしてください。ユニットの構成と操作方法については、*ReadyNAS 3200 ユーザマニュアル*を参照してください。*ReadyNAS 3200 ユーザマニュアルインストール CD*もしくはNETGEAR サポートサイト (<http://www.netgear.jp/supportInfo/>) から入手できます。ReadyNAS コミュニティフォーラム (<http://www.readynas.com/>) は、ソフトウェアの更新、ヒント、使用上のガイドラインなど、様々な情報にアクセスするための便利なサイトです。このガイドに記載された情報は工場出荷時の初期ディスク構成（X-RAID2）を使用しているものと想定しています。

想定所要時間：20分。

注意：ディスクのないユニットは、進める前にディスクのインストールおよびRAIDの初期化が必要です。対応ディスク一覧については、<http://www.readynas.com/ja/>を参照してください。ディスクのインストールとRAIDの構成についての説明は、*ReadyNAS 3200 ユーザマニュアル*を参照してください。

基本設定

以下の手順でユニットをセットアップしてください。インストールされているディスクにより、ユニットは36kgを超える場合があります。移動させる必要がある場合は、二人以上で作業してください。

RAIDar ユーティリティのインストール

製品のインストールCDからRAIDar ユーティリティを、PCにインストールしてください。Windows、MAC、LinuxバージョンのRAIDarがあります。

ユニットの接続

最初のセットアップ時は、ReadyNASのLAN1 Ethernetポートをネットワークに接続し、電源を入れてください。起動には約1分間かかります。デフォルトでは、DHCPを通してIPアドレスが割り当てられるようになっています。

ユニットへのログイン

1. RAIDar ユーティリティを実行します。RAIDar を実行する PC と ReadyNAS 3200 は、同じ IP サブネット内に存在する必要があります。

ヒント：ReadyNAS 3200 に必ず同じIPアドレスが割り当てられるようDHCPサーバで設定しておく、管理がしやすくなります。

2. RAIDar [セットアップ] ボタンをクリックし、FrontView ブラウザセッションを開きます。ログイン画面が表示されます。初期設定のユーザ名は **admin**、パスワードは **netgear1** です。



ログインすると、FrontView ユーティリティのホームページが表示されます。

セットアップウィザードによる基本設定

セットアップウィザードが基本的なセットアップを進めます。バックアップ、VLAN、ユーザアカウント、クォータなどについては、*ReadyNAS 3200 ユーザマニュアル*を参照してください。

注意：セットアップ・ウィザードをスキップする場合は、警報メールアドレスを別途設定し、管理者パスワードの変更などを行い、パスワードリカバリの質問を設定してください。



1. 工場出荷時には、セットアップウィザードが有効になっています。[次へ]をクリックしてウィザードを進めます。

2. [時計] タブのページで初期設定のタイムゾーン、時刻、NTP オプションを設定します。[次へ]をクリックして進みます。

3. [警報] タブのページで、少なくとも1つのメールアドレスをシステム警報用に入力してください。[次へ]をクリックして進みます。



4. [イーサネット] タブページで、IP アドレスを設定するか、初期設定のままDHCPを選択します。

[次へ]をクリックして進みます。

5. [グローバル設定] タブページで、ユニットのホスト名を変更することができます。また、静的IP構成を使用する場合、デフォルトゲートウェイとDNSを設定必要があります（初期設定のままDHCPを使う場合、これらの設定を変更する必要はありません）。[次へ]をクリックして進みます。

6. [管理者パスワード] ページで、システムログインパスワードを変更し、リカバリの質問、回答、メールアドレスを入力してください。質問と回答が分らなくなると、パスワードのリカバリができなくなりますので、注意してください。[次へ]をクリックして進みます。



7. [セキュリティモード] タブのページで、ユーザーやグループアカウントに基づき共有へのアクセスを制限する[ユーザー]の初期設定オプションを設定します。FrontViewは、ネットワークで検出した最初のグループ名を使用しようとします。見つからない場合、初期設定の「VOLUME」をワークグループ名として使用します。NAS本体を追加するワークグループ名を指定してください。[次へ]をクリックして進みます。

8. [アカウント] タブページで[ユーザーの追加]をクリックします。新しいユーザーとユーザーパスワードを追加します。[次へ]をクリックするとウィザードが終了します。アカウントのセットアップに関する詳しい説明は、*ReadyNAS 3200 ユーザマニュアル*を参照してください。

これで基本セットアップは完了です。

共有ストレージへのアクセス

以下の手順で ReadyNAS の共有へアクセスします。

初期設定では、以下のファイル共有プロトコルが有効になっています：CIFS、AFP(Bonjour と ATP の両方でアドバタイズ)。HTTP/S、FTP、NFS、および Rsync は初期設定では有効になっていません。

Linux や Unix ワークステーション、ドライブマッピング、およびその他のファイル共有オプションに関する詳細は、*ReadyNAS 3200 ユーザマニュアル*を参照してください。

Windows PC からのアクセス共有

- Windows で共有の一覧を見たいときは、RAIDar で [ブラウザ] をクリックするか、エクスプローラのアドレスバーに ¥¥<*ip_address*> または ¥¥<*hostname*> と入力します。



- ユーザ名とパスワードを入力して ReadyNAS に接続します。



Windows エクスプローラが ReadyNAS 共有の内容を表示します。



MAC OS X から共有にアクセスする

- OS X で、AFP を通して同じ共有にアクセスするには、[Finder] を開き、[共有] セクションで ReadyNAS ホスト名を確認してください。



- ホスト名をクリックし、共有を表示します。

操作上のヒントと注意点

トラブルを回避して ReadyNAS 3200 を最大限に活用するために、以下のガイドラインに従ってください。

電源ボタンの操作

ユニットを起動する際は、約 1 分ほどかかります。ユニットの電源を切る際は、前面の電源ボタンを 2 度押してください。これで正常なシャットダウンができます。電源を切る際のオプションについては、*ReadyNAS 3200 ユーザマニュアル*を参照してください。

設置場所

排熱用の通気孔がふさがれない場所に設置してください。

UPS の使用

無停電電源装置 (UPS) を利用すると、停電発生時でも ReadyNAS 3200 を正しく自動シャットダウンできます。UPS の使用については、*ReadyNAS 3200 ユーザマニュアル*を参照してください。

FrontView のステータス情報

FrontView 設定ユーティリティの下方には、ディスク、ファン、温度、UPS (あれば) の状態を示すカラーステータスランプがあります。



ステータスランプをダブルクリックすると、詳細が確認できます。

データ保護とボリューム拡張

ディスク 1 台の装置では、冗長性がなくディスクの故障からデータを保護することができません。ディスクを冗長化するには、1 台目のディスクと同容量以上のディスクを追加します (ReadyNAS 3200 の電源を落とす必要はありません)。ディスクのサイズ次第で、2 ~ 3 時間以内にデータボリュームが完全に冗長化します。このプロセスはバックグラウンドで実行されるため、ユニットへのアクセスには何の支障もありません。また、さらにディスク容量が必要な場合は、ディスクの追加や、既存ディスクを容量の大きいものへ交換すると、X-RAID2 が自動的に拡張します。X-RAID2 では、ディスクを再フォーマットしたり、データをあちこち移動したりせずに拡張できます。

テクニカルサポート

本製品の底部に張られたシリアルナンバーを確認し、<http://www.netgear.jp/registry/>にて製品を登録してください。

電話によるサポートサービスを受けるには、ウェブサイトまたはお電話による事前登録が必要です。世界各地のカスタマーサポートセンターの電話番号は、本製品付属の保証およびサポート情報カードに記載されています。

ウェブサイト <http://www.netgear.jp/supportInfo/> で製品のアップデートおよびウェブサポートに進んでください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI—A



201-11832-01

2009 年 6 月